

実施機関・協力機関

日立造船(株)
京都大学
大阪市都市技術センター

実施場所

ベトナム国
ホーチミン市

事業の背景

- ① 下水処理が普及していない東南アジア地域では、セプティックタンク(腐敗槽)の設置が一般的である。
- ② ただし、このセプティックタンク内に蓄積する汚泥が適正に処理されていないため、排水水質の悪化や地下浸透による地下水の汚染源となっている。
- ③ よって、このセプティックタンク汚泥(腐敗槽汚泥)の適正浄化並びに処理汚泥による緑農地利用促進を図ることで、従来の水質汚濁及び不透明な処理問題の改善を目指す。



導入する技術の概要



期待される効果

- ① 衛生と健康の改善
(公共水域への汚水拡散防止)
- ② バイオガスの生産と汚泥の再利用
- ③ 地球温暖化防止